

なかしゅんべつ

2011

11

No.406



目次

役員研修……………	2~3	営農対策情報……………	12
農協法公布記念日にあたって…	4	年金友の会秋季旅行……………	13
青年部のページ……………	5	ご結婚おめでとう……………	14
女性部のページ……………	7~8	同志会通信……………	15
新規参入者交流会……………	10	ワールドエキスポを視察…	16
わが家のアイドル……………	11	理事会の動き……………	19

何事にも挑戦する桃華ちゃん、よく食べてよく眠るくるみちゃん。まだまだやんちゃざかりの昂くん。韓流ブームの小林家取材しました。

役員研修

平成23年度役員研修を、10月11日から14日にかけて役員11人、事務局2人により実施し、岐阜市の下水道・りん回収事業、岐阜市北部プラントと大阪府堺市のクボタ機械サービス株式会社クボタ堺製造所を視察して参りましたので報告します。

岐阜市
下水道処理
北部プラント
視察

岐阜市西中島6丁目3番地25号

汚泥からりんを析出、 廃棄物が資源として蘇る



岐阜市の下水道・りん回収事業について、岐阜市上下水道部・花井敏博技術審議監、中川博施設課長、太田教明所長から説明をいただきました。

岐阜市は、人口41万人の都市で昭和9年に下水道処理施設に着工し、昭和12年に日本で5番目になる下水道処理場を稼働させたという歴史があります。昭和41年に8万3千人の下水道処理を行い、現在、岐阜市全体の普及率は、人口の89.4%が下水道処理施設を活用出来る状態になっております。下水道処理場は、北部・西部・中部・南部の4つの処理場があり、下水処理の方法は、各家庭から流れてきた汚水を沈殿させるという事を行

います。その後、微生物の入った貯留槽に移り微生物に空気を送り込むことで微生物が活発に汚れたものを食べて浄化される工程の中で、りんを析出するシステムになっていくとのことです。

その後、上澄み液は綺麗になるので、それを消毒して川に流し河川から海に流れていきます。

残った汚泥は、脱水機を経て脱水ケーキとなり汚泥焼却場に移動され850度で焼却を行い汚泥焼却灰となります。焼却灰は過去、産業廃棄物として埋立処分されておりましたが、平成6年から平成20年までの15年間は、煉瓦を作っていたそうです。その後、施設の老朽化と需要先の公共事業が伸び悩みという状況から需要が無くなり、煉瓦作りに替



わる新たな汚泥処理の方法として、汚泥に含まれるりん回収事業を始めたということです。

りんや窒素は、河川から海に流れると赤潮という海水の栄養状態が低くなりやすいという悪影響があるそうです。りんは肥料としてその殆どが中国から輸入されておりましたが100年で枯渇すると言われる貴重な資源であることから、りんを回収して役に立てたいという考えで現在の施設に至ったという経過を説明されました。

焼却灰からりんの回収方法は、灰に化成ソーダーや色々な薬を入れてりんがイオンとして析出され、そこに消石灰を加えリン酸カルシウムが生成されます。

年間製造量は、りん酸カルシウムが約400tと処理灰が約800t生成されるといわれました。

りん酸カルシウムは、粒状となっており「岐阜の大地」20、「岐阜の大地」25、「岐阜の大地」30という名称で3種類を肥料登録しております。単肥、アルカリ資材としても利用でき価格は20kgで800円という低価格で地元J A岐阜で販売されておりますが、今年からフレコンバック入りを製造し、約800kgで2万円の価格で販売を行うとのことです。仮に当地J Aまで運搬した場合、フレコンバック1袋で1万3千円の運賃と試算されました。800kgの「岐阜の大地」20が、当J Aに積み下ろし価格を除いた配送を含めた税抜価格は3万3千円と報告されました。

汚泥からりんを析出し付加価値を高めて販売しておりますが、まだ採算ベース

には至っていないという話がされました。しかし、廃棄物

が貴重な資源として蘇るといふ先進事例は大変参考になり

ました。

クボタ
機械サービス(株)
クボタ堺製造所
視察

堺市堺区石津北町64番地

どこにも無駄な動作があるかを徹底的にチエツク



千400人の従業員が従事しており、そのうち堺製造所には2千350人が働いております。

明治23年の創業以来、水道用鉄管による水道の整備、農業機械による食料増産と省力化、環境による人類と環境の調和など、暮らしと社会に製品を送り出しており、豊かな生活と社会の基盤を支える製品、技術サービスを通じて、社会の発展と地球環境の保全に貢献するという経営理念のもと、「食料」「水」「環境」という世界的課題の解決に向けて、グローバルに事業を展開していると説明されました。

堺製造所の敷地面積は、20万㎡ありとても広く敷地いっぱい工場が建ち並んでおり、その一部を視察した後、業務部サービスセンター所長の杉本吉昭氏から説明をいただきました。

クボタは、全国で2万5

かけとなったのが、「現実、現場、現物をよく観察し、原理、原則にのっとって判断せよ」という5ゲン基本理念を基に取り組んだということです。具体的には、ストックプオツチで製品1個の組み立てにかかる正味時間を計り、何処にも無駄な動作があるのかを徹底的にチエツクしたそうです。

堺製造所では、ムダを無くすための「7N(ない)運動」を強力に推進したと説明されました。7つの「ない」は、作業する従業員が「歩かない」「運ばない」「振り向かない」「しゃがまない」「背伸びをしない」「出し入れしない」「叩かない」「このことを基に、騒音が鳴り響く工場の流れ作業の中で安全に機械のパーツを手際よく組み立てていくためのものです。これを実現するためのツールや自動

運搬機等を導入し、かつて83・9mあった小型ディーゼル製造ラインが40・5mに縮まり、15分に1台の割合でトラクタが製造されるといふ工場全体の生産性は10年間で35・4ポイント向上したそうです。会社としての「あるべき姿」に近付けるためのいろいろな取組を視察したり、貴重な話を聴くことができ、農業経営、農協運営において、共感できる部分もあり、非常に参考となるものでした。



農協法公布記念日にあたって



北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が制定され64年目を迎えました。制定当時は戦争の傷跡が生々しく、日本全土が荒廃する中で、国民の食料は不足し、食料確保の必要性と併せて農民の自主的立場を確立するため農村の民主化が最重要課題でありました。

このような時代背景の中から農協法が施行され、全国各地で農協が設立され、現在に至っております。農協は農地改革によって生まれた自作農を基本とした「農民の農民による農民のための」組織として、人々が連帯し助け合うことを意味する「相互扶助」の精神のもとに組合員の農業経営と生活を守り、より良い地域社会を築くことを目的とした協同組織です。

農協法が制定されて以来、経済情勢や社会環境の変化に合わせてJAの事業展開や組織運営手法の変革が求められ、時代に即した法改正によって、組合員の社会・経済的地位の向上に大きな役割を果たして参りました。さて、東日本大震災から半年以上が経過しましたが、復興への道筋は決して容易なものとはなっており、また原発事故の収束にも目途が立たず、全国の農業者や消費者は不安な日々

を抱えています。私たちJAグループは、今後とも食料供給基地である被災地の復興に向けてあらゆる支援を続けていくこと、政府の指導のもとで安全・安心な農畜産物を安定的に消費者の皆様にお届けすることに、今こそ協同組合精神である「絆（きずな）」を大切にすべく価値観のもとで、総力を挙げて取り組むことが必要です。また、国連は平成24年を国際協同組合年とすることを宣言しました。「協同組合がよりよい社会を築きます」のスローガンのもと、協同組合の社会的役割・意義をアピールしていきましょう。

また、本年1月から様々な団体と連携し展開した「TPP交渉参加反対1千万署名全国運動」では、1166万人を超える国民から賛同する署名が寄せられました。こうした国民の要望を踏まえJAグループ一丸となって今後も国民理解を促進していきます。今後とも厳しい情勢が予測されますが、組合員、役職員の皆様が農協法公布記念日を契機に、農協法の目的と意義を再確認して、JAが地域農業・農村振興の司令塔としての役割を發揮し、頼れる組織として益々発展するように共に頑張りましょう。

手作りチーズのこだわり エサが安定しているので安心!

(尙)中山農場

(尙)グリーンコンプリートサービス



青年部(金子琢哉部長)では、中春別地区・(尙)中山農場のミルク工房と美原地区・(尙)グリーンコンプリートサービスの視察研修会を10月12日(水)に、青年部員13人の参加のもと開催いたしました。

「サイレージの腐敗によるロスが想像以上に無いこと、エサが安定して運ばれてくるので吹雪の時や家族が病気になる時でも安心できる」と、TMRのメリツトについても説明をもらいました。また、建設中の写真なども見せていただきました。



「サイレージの腐敗によるロスが想像以上に無いこと、エサが安定して運ばれてくるので吹雪の時や家族が病気になる時でも安心できる」と、TMRのメリツトについても説明をもらいました。また、建設中の写真なども見せていただきました。

今回の視察研修会では、いろいろとお話を聞かせていただき非常に有意義なものとなりました。対応していただきました中山社長、また、山田代表、高橋管理部長、浮川作業課長、塩崎マネージャー本当にありがとうございました。

美味しい!と好評、売れ行きも上々 店舗収穫祭



農協店舗前駐車場にて店舗収穫祭が10月19日(水)開催され、青年部(金子琢哉部長)では、黒毛和牛肩ロースステーキ、黒毛和牛ハンバーグの試食及び販売を行いました。

最初に渡邊奎一さんより黒毛和牛の焼き方を指導していただき、焦がさないよう、また焼きすぎないように慎重に焼きはじめ試食販売を開始しました。会場では試食

用の2品の焼きあがる香ばしい匂いが漂い、多数の来場者の方に試食をしていただきました。試食をされた方からは「おいしい!」、「家を買って帰るわ」などの言葉をいただき、販売の方も好評でした。参加された皆さんお疲れさまでした。

懇親会が和やかな雰囲気の中、開催されました

農水省受入担当者との懇親会

9月27日(火)～29日(木)の期間に毎年行っております地区青協事業の一つである農水省担当者の受入を当青年部理事である片野大介さん宅にて行いました。



今回は農林水産省牛乳乳製品課価格調査班・川中秀哲氏を受入し、当地区青年部員との懇親会を28日(水)北平系会館にて開催いたしました。当日は青年部員16人の参加のもと懇親会が開催されました。始めに川中氏より自己紹介を兼ねての挨拶を

いただき、金子部長より乾杯の挨拶をいただきました。残念ながらアルコールがない中の懇親会でしたが、みなさん食事を楽しみながら、仕事の事からプライベートの事まで和気あいあいと話に華を咲かせていました。



「正しい搾乳手順」基本をあらためて勉強

J A 中春別酪農ヘルパー利用組合・中春別営農サポート協議会合同勉強会

J A 中春別酪農ヘルパー利用組合と中春別営農サポート協議会が、9月29日(木)に合同で勉強会を行いました。

生乳課の澁谷職員を講師に迎え、J A 中春別酪農ヘルパー利用組合職員10人、中春別営農サポート協議会研修生8人が出席しました。

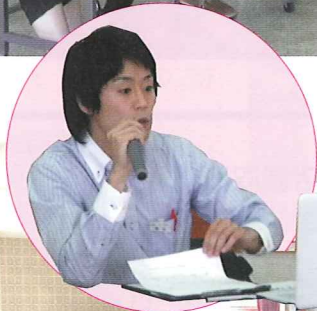
勉強会のテーマは普段の仕事で多く行う「正しい搾乳手順」。毎日のように行う作業ではありますが、改めて基礎をしっかりと学ぶということ出席者の皆さん

はメモを取りながら真剣に聞いていました。仕事を行う

うにあたって基礎的なテーマの勉強会ですが、基本を

再確認するとても良い機会になり、今後の仕事に役立つ勉強会となりました。出

席された皆さん、大変お疲れさまでした。



女性部 宿泊研修



中春別農協女性部(畠山友子部長)では10月12日から14日にかけて、宿泊旅行で函館へ行ってきました。

海鮮料理を堪能！名所散策と 百万ドルの夜景に思わずうつとり

部員11人が参加し、中標津空港から飛行機を乗り継ぎ、お昼には函館に到着。函館海峡市場でテーブルに並ぶ海鮮料理に舌鼓をうち、お店の方に函館の街を紹介

していたきました。お腹がいっぱいになったところで参加者一同バスに乗り込み、バスガイドさんの案内で大沼国定公園へ向かいます。名曲「千の風になつて」が作詞

された場所に立って景色を眺めたり、色づき始めた紅葉を楽しみ、遊覧船に乗り湖を一周しました。
1日目のホテルは「平成館しおさい亭」。荷物を置き、

部屋で休憩したり温泉にのんびりと浸つたりとそれぞれ過ごされたあと、会食が始まりました。会食はとても豪華で皆さん無言でカニに夢中。お酒も酌み交わし部員同士仲良く過ごしました。
2日目は8時半にバスに乗り込み、向かった先はトランプスチヌ修道院。バスガイドさんの案内で施設や庭のオブジェを見たあとに、修道院で作られたお菓子やアクセサリーなどのお土産を買いました。その後、五稜郭公園を歩き途中で奉行所の中を見学。次に高さ98mのタワーに登り星の形を確認



すると、函館市街を一望できる景色をゆつくりと堪能しました。立待岬に寄り、景色を眺めた後、函館ビヤホールにて昼食をとり、午後からは金森赤レンガ倉庫にてショッピング。時間も存分に使いそれぞれたぐさんのお土産を手にはバスに乗り込み、二同向かった先は旧函館区公会堂(ハイカラ服装館)。衣装を選び、ヘアメイクをしてもらって写真を撮りました。その後、北島三郎記念館にいき、北島三郎さんの生い立ちやコンサートの実ステージを楽しみました。日も落ちてすっかり暗くなったので、夕食「遊膳炙屋沙羅の月」にて会食。またまた、おいしいごちそうをたくさん食べてお腹いっぱいになっ



たところ、場所を移動し、函館山夜景鑑賞。宝石箱をひっくり返したような光がいっぱい、ゆつくりと心行くまで見ていました。
3日目は、函館朝市でショッピング。「美味しいから食べてみて!!」と呼びこまれ、味見だけでお腹いっぱいになつてしまいます。生簀から釣り上げたイカをその場でさばってもらい、活きたままのイカをたべました。市場を楽しんだ後は昼食を食べ、函館空港へ。2泊3日の函館旅行を最後まで楽しみました。参加されたみなさんお疲れさまでした。

女性部のページ

女性部 収穫祭



好評！昼すぎに完売しました

10月19日、Aコープ収穫祭と合わせて『女性部ミルク豚汁無料配布』『べつかい牛乳・乳製品即売会』『フリーマーケット』が開催されました。

当日は11時から無料配布を開始。お客さんも途切れることなく大忙しの中、始まりました。今回もミルク豚汁、チーズたこ焼き、コーヒー牛乳を無料配布し、今年新しく生キヤラメルソース、チーズフォンデュをフランスパンにたくさんつけて食べてもらいました。どれも好評でお昼すぎには1000人分がなくなりました。

べつかい牛乳・乳製品即売会ではべつかい乳業興社の加藤さんにもご協力いただき、新商品「甘酒ハニーミルク」しつとり濃厚チーズタルト」の説明や試食コーナーを設け、お客さんも興味津々で商品を手に取り売れ行きも好調でした。フリーマーケットでは趣味の会が作ったクッキーも販売され、収穫祭は大成功に終わりました。

今年最高
130万6,000人が来場
札幌オータムフェスト2011

Aコープ
中春別店舗
が初出店



9月16日～10月2日の17日間、札幌大通公園4丁目会場から8丁目会場それぞれ「生産者・料理人・消費者」の顔がみえる「北海道の食」をメインテーマとして、2008年から始まった秋のイベント、札幌オータムフェストが開催されました。

今回、初めてAコープ店舗に別海町より参加依頼があり、乳(ミルク)ホタ餃子・牛サイコロステーキ・牛ハンバーグの3品を持って、9月21日～26日の6日間、8丁目会場にて販売いたしました。

8丁目会場では、道内の100を超える市町村が自慢の特産品をその場で調理販売や手問ひまかけた加工品などを提供し、週替わりで出店者を入れ替えしながら行われました。

別海町は、イベント期間

(17日間)通して3.6m×3.6mのテントブースを借り上げ、当店舗のほか別海乳業興社・みどり工房・(有)中山農場などが出店しました。

8丁目会場ではちびっからお年寄りまで幅広い年齢層の来場者により大賑わいしており、そんな中、別海町ブースでは「別海町～別海町～」と呼子から焼き手まで元氣いっぱい。その結果、焼き手が追い付かないほどの行列ができるなど、常に20人前後の来場者が並ぶ大盛況で毎日、夕方前には完売することができました。来場者からは「すごくおいしい」「初めて乳ホタ餃子を食べたけどモチモチしておいしかった」などと嬉しいコメントが多数。お家のお土産に持って帰る方や何度も並んでいた方も多数見受けられました。

今回の出店では乳ホタ餃子3000個、牛サイコロステーキ250kg、牛ハンバーグ500個販売といった大盛況のうち幕を閉じることができました。

みんなで作ったそばが、 美味しくできあがりしました

美原「そばを味わう会」

旧美原小学校で長年続けられてきました「そば学習」を、子ども会と地域住民が協力して引継いでいこうと10月10日(月)旧美原小学校にて「そばを味わう会」が開催されました。



美原独自の行事で「そば学習」を基軸に、三世代交流を継承していこうと開催された「そばを味わう会」。美原子ども会を中心にそばの種まきから刈り取り、脱穀とそば打ちまで美原地区在住の保育所から中学生の子供たちと、保護者、美原子



ども会の役員、明友会、指導者など約60人以上が協力して行いました。



今年の収穫量はそば粉にして3kgと少なめでしたが、小学校高学年と中学生の子供たちが、保護者などに教えられながらそばを打ち、お昼にはおいしいおそばが出来上がりました。



飼養衛生管理基準の定期報告について 根室家保から

牛、水牛、馬、しか、めん羊、山羊、豚、いのしし、鶏、あひる、うずら、きじ、ほろほろ鳥、七面鳥、だちょうのいずれかを飼養されている方は、法律により、**毎年2月1日時点の飼養頭羽数や飼養衛生管理基準の遵守状況等を報告することが義務づけられました**(家畜伝染病予防法改正 平成23年10月1日施行)。

ただし、本年に限っては、10月1日時点で飼養している家畜の種類と頭羽数及び畜舎数を報告していただきます。報告は、農場ごとに、家畜の所有者又は管理者が作成し提出となります。

様式の配付と回収はJAにお願いしています。期日までの報告に御協力をお願いします。

問い合わせ先 北海道根室家畜保健衛生所 TEL0153-75-2439

根室管内 新規参入者交流会

根室酪農の ステップアップを目指して

平成23年度根室管内新規参入者交流会が、10月17日に中標津町のウエディングプラザ寿宴で開催されました。

この会は、新規参入者の交流を深めるとともに、新規参入者が抱える課題や問題について意見交換を行い、よ



り良い新規参入体制の実現を目的として、根室管内農業士会が主催し、根室管内指導農業士会、根室管内農協組合長会、北根室地区農業改良協議会、南根室地区農業改良推進協議会、(財)北海道農業開発公社が後援となっております。

参加者は、管内新規参入者、新規参入予定者、指導農業士、農業士、就農トレーナー、(有)別海町酪農研修牧場、各市町、各農業協同組合、中標津農業高校、別海高校、根釧農業試験場、根室農業改良普及センター、根室振興局から関係者52人が集まりました。当JAからパネラーとして小幡真希さん、平成22年度新規就農の斉木豊樹さん、就農トレーナーの平林直文さん、農業士の高橋真悟さん、原内修さん、指導農業士の青野芳樹さん、奥山秀幸さんが出席されました。

業士会会長から「東日本大震災やTPP参加問題により、安心安全な食料生産をしなければならぬ。農業士会から新規参入者に対する支援の一環として今回の交流会を開催することとなった」との挨拶がありました。

早速、「根室酪農のステップアップを目指して」というテーマで、パネルディスカッションに入りました。パネラーは、新規参入の浅井克俊さん、小幡真希さん、就農トレーナーの山田俊彦さん、(有)別海町酪農研修牧場の谷野場長、JA道東あさひ白井課長があたりました。コーディネーターは、農業士会の高橋会長、普及センターの横山主査があたりました。それぞれ自己紹介した後、パネラーに対して「就農してから困ったことやトラブルについて」の質問があり、小幡さんから「入植した年の11月から冬にかけて分娩が

集中し、子牛が下痢をして死んでいくことが多く、とにかく事故が多くて大変だったこと」を挙げており浅井さんからも、「牛の健康状態の維持が思った以上に大変だったこと」と同じ様な内容でした。他には育児についての課題など、共通する課題が多く、今後このような課題整理と課題解消に向けた取り組みが望まれます。

関係機関から世界的な情勢からくる課題提供として、①大豆のタンパクについて、牛を介したタンパクとして供給しているが、コスト的な視野から今のままでいくのか。②これから肥料や穀物が安定的に入ってくるのか。③家畜糞尿をどう使うのか。④草地の利用率をどう高めるのか。⑤地域とのコミュニケーションのあり方についてなど。これからの人は、これらの事を考えて経営にあたった方が良いと思うという幅広い助言がされました。

パネルディスカッションの後、昼食を兼ねた交流会が行われ、ここでもパネラー以外の新規参入者・新規参入予定者の自己紹介が行われ、参加者との交流を深めました。

わが家のアイドル

家族揃って韓流ブームの小林家

今月のアイドルは美原地区の小林さんのお宅を訪問しました。当日はよく晴れた日だったので外の庭の前で写真を撮りました。



長女の桃華ちゃんは中春別中学校2年生の女の子。

お父さんお母さんから見た桃華ちゃんはいろんなことに挑戦する子。文化祭では友達と6人でバンドを組み、キーボード担当でライブに出ました。ピアノを習っていたのでキーボードはお手のもの。次は豊原の音楽祭にも参加します。いろんなことに興味があり、太鼓や習字、バドミントンなどいろいろなことには挑戦してきました。今は部活で卓球を練習し、当日も練習をしてきたところで

愛らしく育ててほしい」とつけられました。

二女のくるみちゃんは中春別小学校に通う女の子。「くるみのように硬い殻につつまれた固い意志を持つてほしい」と名前をつけられました。そんな願いからくるみちゃんは負けず嫌いの性格で、桃華ちゃんとゲームをして負けてしまうと泣いてしまうのだとか。両親から見たくるみちゃんは「よく食べて、よく眠る子」家族の中で一番最初に寝てしまい、ご飯もよく食べるそうです。

ご飯もよく食べるそうです。家にいるときは桃華ちゃんと机に向かい勉強をします。真面目にコツコツお金をためているそうで「大人になった時に使います」と教えてくれました。

美原地区
父・小林 裕さん
母・婦美子さん
長女・桃華ちゃん(14歳)
二女・くるみちゃん(8歳)
長男・昴くん(4歳)

「桃の花のように可

末っ子長男の昴くんは、お母さんの婦美子さんが「単体ではなくみんなで光輝いてほしい」との思いでつけられました。トラクターが大好きで、お気に入りのおもちやで遊んで見せてくれたり「お父さんとここでパークゴルフするんだよ!」と庭を案内してくれました。家族み

んなに昴くんはどんな子が聞いたところ「よくしゃべる」「二番元気」「よく走る」「マイペース」「車が好き」などいろいろな答えが返ってきます。

元氣いっぱいの昴くんはみんなが目を離せない存在で、面倒見のいいお姉ちゃん方



にも愛され育まれているのだなと思います。

そんな小林家では、家族揃って韓流ブーム。桃華ちゃんはキムテヒが出演するドラマ「僕とスターの99日」を欠かさず見えています。車の中でもK-POPが流れ、みんなが東方神起や少女時代などを聴いています。家族が仲良く話題の絶えない小林家。当日は取材のご協力ありがとうございました。

営農対策情報

根室農業改良普及センター

農業経営を考えよう

経営に基づいた営農・経営できていますか

11月を迎え、今年の経営を振り返り、来年の経営計画を立てる時期がやってきました。

経営を考えるのは、年一回！そんな風に考えている方は、要注意。毎日の農作業の積み重ねの中にも、経営感覚は求められています。今回は、農業経営について、ちょっと考えてみましょう。

営農計画はなぜ必要か

毎年一回、たてなければならぬ営農計画、「こんな面倒なこと、なぜ農家はしなきゃならないんだ」と思ったことありませんか。

でも、ちょっと考えてみてください、常にとんぶり勘定、次年度の経営計画もたてないような会社はありません。もしあったとしても、そのような会社には誰もお金を貸さないとしようし、信用が得られず売り上げも見込めないでしょう。

営業者も同じです。営農計画は、自分の経営をどう考え、どう進めていくかを表すもの。だからこそ、営業者自身が考え自ら作成することが求められています。

へ考えてみよう

① 農業所得目標はいくら？

所得から家計費を払い、資金返済して、余剰が残るのが理想です。

② 必要な家計費額はいくらか？

家族の変化（進学、結婚など）で必要な家計費額は変わります（今年必要でなくとも、近年中に予定があれば、蓄える必要あり）。

③ 将来に向けての投資などには必要ないか？

現状の施設、草地、家畜で、将来ビジョンを達成できる経営ができるか検討しましょう。

④ 農業所得目標を達成するために

所得目標を達成するため、どんな経営が必要ですか。現状の経営から、無理のない計画か検討しましょう。

⑤ 収入の計画は

どれくらいの乳量が搾れそうか

⑥ 支出の計画は

無駄な経費はないか
個々の状況によって、達成できる乳量や圧縮できる経費、あるいはどうしても必要な経費なども変化します。具体的に実情を踏まえた無理、無駄のない計画を樹

立しましょう。

毎月の収支を確認しよう

営農計画を絵に描いた餅にしないために、毎月の収支は必ずチェックしましょう。

⑦ 農業所得はいくらだったか？

図1の経営成果欄の農業所得が、農業収入から農業支出を引いた額になります。まずは、計画の農業所得を達成しているか確認します。

⑧ 計画通りの収入はあったか？

支出は計画の範囲内に収まっているか？

図2の本年取引累計欄①と計画欄②を比較して、それぞれの科目で確認します。

計画を達成できていない時は、何が問題だったのか、どうしたら改善できるのか、しっかりと検討しましょう。

今回は、クミカンでのチェックの仕方をご紹介します。クミカン取引をされていない方も、チェックのポイントは同じです。参考にしてください。

計画と実績は、家族内で共有して

いることが大切です。我が家の経営や計画、将来目標について、家族で話し合い、みんなで考えて営農していきましょう。

農業所得	(農業収入 - 農業支出)
農家所得	(農業所得 + 農外収入)
農家経済余剰	(農家所得 - 家計費 - 資金返済)
資金返済後余剰	(農家所得 - 家計費 - 資金返済他)
家計費率	(家計費 ÷ 農業所得 × 100)

図1 組合員勘定の経営成果欄

② 営農開始日から同月末までの営農計画累計		① 営農開始日からの取引実績の累計	
前年の同月末までの取引累計額	今日の取引実績額	店番	口座番号
▲ [クミカン]	営農管理報告票	支所	
平成21年12月1日	～	平成21年12月31日	***-**** ***-****
収入項目	前年取引 千円	計 画 千円	本 年 取 引 今 回 累 計
乳量(t)	373	0	27 376
01 生 乳	24,765	25,152	1,832,841 25,440,114
02 補 給 金	1,687	1,572	106,125 1,758,386
03 乳用牛	2,656	5,680	1,184,400 5,376,000

図2 組合員勘定の見方

年金友の会
秋季旅行

道東の秋を満喫してきたよ!!



中春別農協年金友の会(高橋昌晴会長)では、10月19日から21日の2泊3日で阿寒・北見方面へ秋季旅行に行ってきました。

会員36人に乗せ、すっかり色づいた景色を見ながら

阿寒に向かいバスを走らせました。

パーク班14人は、阿寒湖

荘にゆつたり温泉組を残して、津別町パーク場へ。

別海町も大きいコースがあります、津別も3コース

54ホールの見事なパーク場でした。到着時間が遅く

なり、18ホールのみのお大会になりましたが、「物足りない!、また来たい!」と事務局は言われながら、津別を後にしました。優勝は原内律子さん、準優勝は篠田静子さんでした(お見事)。

初日の宴会が始まり、おいしい料理に舌鼓し、お酒も多少入り(少し飲み過ぎちゃった人も?)恒例のカラオケ大会に突入し、多めに盛り上がりました。一次会で物足りなかつた人は、二次会会場へ直行。時間の過ぎるのを忘れ、歌にダンスに酔いました。

2日目、朝の早い参加者は早々に朝食を済ませ、北見菊まつりへ向かいました。上着を着ていると汗ばむ程に気温があがり、各々お土産を買ったり、各イベント会場を周り楽しんでいました。

帰りのバスの中、「阿寒湖の遊覧船に乗りたい」と言う参加者の声があり、事務局も小学校の修学旅行以外乗ってなかつたので内心興味津々。参加者は童心に帰り、遊覧船2階前方を陣取り、まりもの歌を口ずさみ阿寒



湖を1周。

2日目の宴会では、ホテルの粋なほからいで食事会場の外庭で、美幌太鼓生演奏を見せていただき、参加者大感激。美原3人娘の日本舞踊にも拍手喝采。恒例豪華賞品付きビンゴ大会では一喜一憂。

ホテルから、参加者最高齢の中山正男さん、田淵政美さんに記念品が渡され最終日の宴会を閉じました。(本当に元気なお2人には敬服)

二次会には、昨日より多くの人が参加し盛り上がり、延長料金発生の事態になりましたが、ホテルマネージャーに目をつぶってもらい無事会計完了。



今回の旅行では天候に恵まれ、体調を崩す人もなく、参加者からは「楽しかったよ」、「また来年も参加するよ」と嬉しい言葉をかけていただきました。

きました。

会長はじめ参加者皆様の協力で無事終了することが出来ました。また、農協観光さん、ホテル阿寒湖荘さんには、いろいろと気を遣っていただき感謝申し上げます。皆さんお疲れ様でした。

ご結婚 おめでとうございます



中春別地区 片野 大介さん・ひかるさん

中春別地区・片野大介さんとひかる(旧姓兵頭)さんが、この度ご結婚されました。

お2人の出会いは8月に行われました別海町でのTVのお見合い企画。

当時、神奈川県で看護助手として病院に務められていたひかるさんは、この番組企画に応募し参加、はるばる北海道別海町へとやってきました。初めて出会った2人ですが、お互い何となく惹かれるものを感じ、

**これから2人でいろいろなところへ行き、
力合わせて仲良くやっています**

日に入籍されました。仕事についてお尋ねすると「仕事はまだまだ慣れませんが」と、ひかるさん。「牛を怖がるけど一生懸命仕事をしてきています」と大介さん。「今まで結婚や仕事でバタバタしていたので、これからは2人でいろいろな所へ行きたいです」と、語ってくれました。

TV番組でめでたくカップルが誕生!

そして、ひかるさんが帰った後、もう1度北海道へきていただき、そして大介さんも、ひかるさんの実家愛媛へ行ったり、また、遠距離でもいつでも連絡がとれるようにと、大介さんは自分名義の携帯電話をひかるさんへ渡し、順調に交際を続け、愛を育みました。その後、めでたく10月1

1日が終わると、ゆっくり晩酌をして過ごすことが多いという2人。「ひかるさんに免許をとってもらって、ゆっくり街を覚えていってもらいたいです」と大介さんの思いもお聞きすることができました。

「これからも仲良くやっ
ていけるのが一番」と話す
2人。

これからも末長くお幸せ
にお過ごしください。



第24回 成年クラス

ホルスタイン写真 コンテスト

乳牛改良同志会(山田博和会長)では、毎年好評
であります「ホルスタイン写真コンテスト(2歳クラス)」

を行いますので、投票要項に注意してお早めに多数
応募して下さい。

予想投票応募要項

1. 同封しています予想投票用紙に6頭の序列付を行
い、その牛の該当記号(A~F)を記入して下さい。
2. 全問正解者、また、正解率の高い方に賞品を贈呈
致します。なお、正解者多数の場合は抽選により決
定致します。
3. 住所、氏名、記号は、はっきりわかりやすく記入し、
投票用紙を畜産販売課(畜産指導係)または、授精
師にお渡し下さい。

FAX76-3006

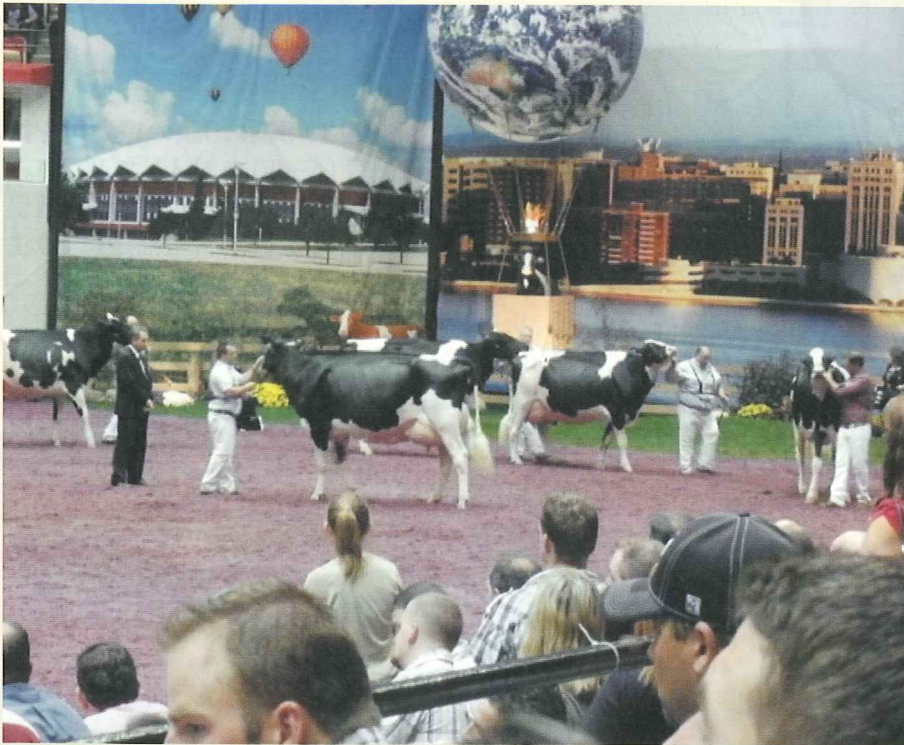
4. 応募メ切は、11月23日(水)となっておりますので
期日厳守にて応募して下さい。



体格・乳器にアメリカと レベルの違いを感じたシヨウ

ワールド
デーリー
エキスポ

10月5〜12日にアメリカのウイスコンシン州マディソンで行われているワールドデーリーエキスポという、世界的にも有名なシヨウを視察研修に参加された美原地区・山田晃嗣さんより寄稿されましたので掲載いたします。



シーという牛でした。アメリカの牛は体格も乳器もレベルの違いを感じあの牛たちを目標に日々の仕事を頑張りたいと思います。

ながら会場を後にしました。

エキスポが終わり残りの2日間は周辺の牧場視察に行き、ロイ フロステイを始め雑誌に出てくる世界の名牛や牧場を回りかなりハードな日程でしたが良い時間を過ごすことが出来ました。

また行ける日が来る事を楽しみにしたいです。

今回アメリカ視察に行くにあたり農協から助成金をもらう事になり感謝しています。

短い記事ですが、みなさんも機会があればぜひ見に行つて見て下さい！



世界中から見学者が訪れ農業機械や施設関係の展示が行われており会場は人でにぎわっていました。

シヨウではホルスタイン以外の品種も行われますが、一番人気があるのはホルスタイン。

今年のチャンピオンはイーストサイド ルイス デール ゴールド ミッ





平成23年10月31日現在

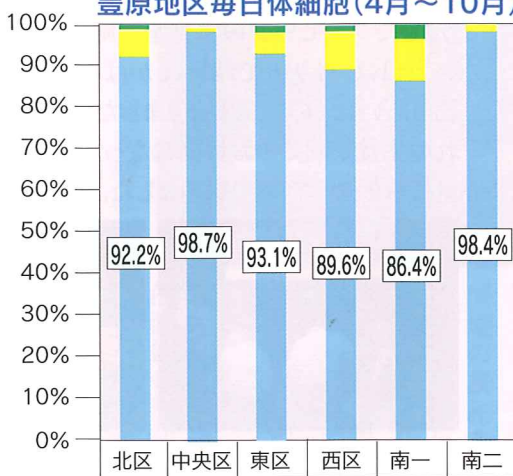
生乳課情報

生乳汚染事故を無くそう！

- 抗生物質混入事故……JA中春別発生件数 1件 管内では 5件の発生です。
- 生菌による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内では 0件です。
- 異物混入、異臭、加水による汚染事故…JA中春別発生件数 0件です。
管内では 0件です。

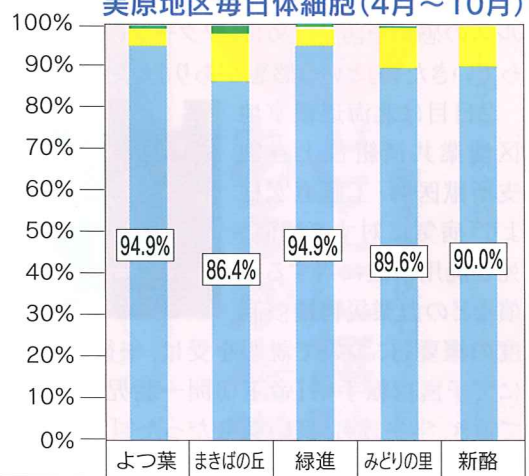
**明るい牛舎は作業意欲の向上と、牛の採食行動にも良い影響を与えます。
照明機器の清掃、点検を!!**

豊原地区毎日常体細胞(4月~10月)



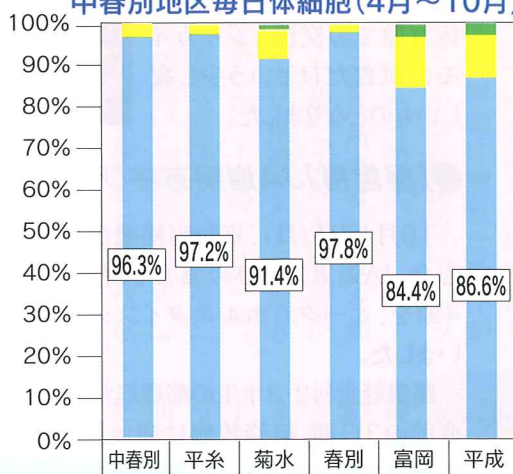
50.5万以上	0.3%	0.1%	0.3%	0.2%	0.3%	0.0%
40.5~50.4	1.2%	0.1%	1.4%	1.3%	3.2%	0.1%
30.5~40.4	6.3%	1.1%	5.2%	8.9%	10.1%	1.5%
30.4万以下	92.2%	98.7%	93.1%	89.6%	86.4%	98.4%

美原地区毎日常体細胞(4月~10月)



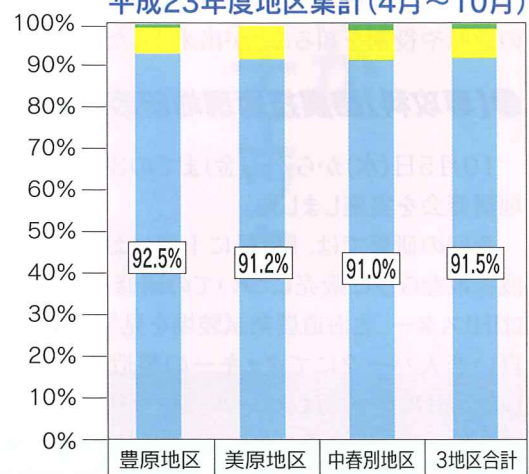
50.5万以上	0.2%	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%
40.5~50.4	0.8%	2.1%	0.9%	0.6%	1.0%
30.5~40.4	4.1%	11.4%	4.0%	9.8%	9.0%
30.4万以下	94.9%	86.4%	94.7%	89.6%	90.0%

中春別地区毎日常体細胞(4月~10月)

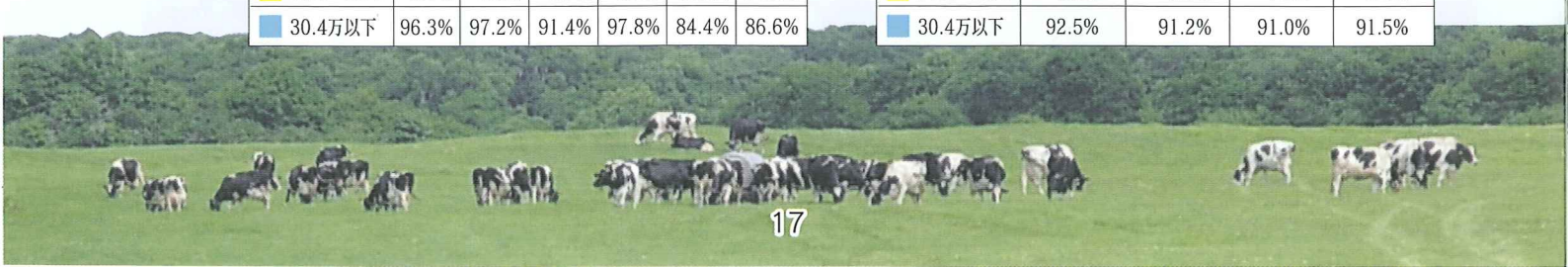


50.5万以上	0.0%	0.2%	0.4%	0.2%	0.4%	0.5%
40.5~50.4	0.4%	0.4%	1.5%	0.0%	2.7%	2.5%
30.5~40.4	3.3%	2.2%	6.7%	2.0%	12.5%	10.4%
30.4万以下	96.3%	97.2%	91.4%	97.8%	84.4%	86.6%

平成23年度地区集計(4月~10月)



50.5万以上	0.2%	0.1%	0.3%	0.2%
40.5~50.4	1.3%	1.0%	1.5%	1.3%
30.5~40.4	6.0%	7.7%	7.2%	7.0%
30.4万以下	92.5%	91.2%	91.0%	91.5%



北海道別海高等学校 酪農経営科・専攻科だより

●【専攻科】乳牛疾病学が実施されました

9月26日〔月〕・27日〔火〕・28日〔水〕の3日間で乳牛疾病学が実施されました。1日目は北海道根室家畜保健衛生所指導課長・中岡祐司様より「家畜伝染予防関係法規」「ヨーネ病やサルモネラ病などの予防・対応」について学びました。学生からは「少しでも牛舎内の環境や消毒に努め、清潔に保つことが大切だと思った。また、ウィルスの感染を防ぐために、ワクチンの接種をしっかりと行っていきたい」という感想がありました。



2日目は北海道根室地区農業共済組合上春別支所獣医師・工藤直宏様より「病気に対する補償、死亡廃用事故に対する補償などの農業災害補償制度の概要」について説明を受け、午後からは共済組合にて子宮捻転手術【帝王切開→胎児排出】を見学させて頂き、学生達も「良い機会だった」「直一層、衛生管理に配慮していきたい」という声がありました。3日目は前日と同じく工藤獣医師より「乳房炎の発生の対処」「適切な搾乳方法」「採食低下要因と生産病の関係」「乾乳牛の栄養管理の基本」について講義を受けました。また、シャーレを用いて「大腸菌等の抗体実験」を分かりやすく説明していただいたおかげで普段乳房炎で使う抗体の意味や役割を知ることが出来ました。



●【専攻科】酪農技術現地研修会実施

10月5日(水)から7日(金)までの3日間、酪農技術現地研修会を実施しました。

今回の研修では、1日目に十勝において、種雄牛の精液採取ならびに販売についての研修をおこない、2日目はIHIスター、北海道農業試験場を見学しました。その後、白い恋人パークにてクッキーの製造体験をおこないました。IHIスターでは、ロールペーラやマニュアルプレッダなどのシステムチックなパーツ製造ラインを見学しました。3日目の最終日には雪印種苗北海道研究農場を見学しました。ここでは、優良品種牧草や、草地更新、牧草の刈り取り適期などについて説明を受けました。実験圃場を歩きながら、実践に即した詳し



雪印種苗北海道研究農場



い説明を受けた参加学生たちは、真剣にメモをとっていました。

根室管外の現地研修会をとおして、学生たちにとって、それぞれの専門性を高めると共に、酪農人としての幅を広げる研修会となりました。

●【経営科・専攻科】産業祭に参加

9月17日(土)、18日(日)の2日間にわたって行われた別海町産業祭に、酪農経営科は“牛乳料理の無料配布”と本校で生産した野菜や加工品の販売、イベントの手伝いを実施、農業特別専攻科では肉加工品の試食ということでソーセージの試食を実施しました。

当日は、曇り空で時折雨がぱらつくなど、昨年引き続きあいにくの天気となりましたが、寒い中でもそれぞれの生徒が日ごろお世話になっている地域への感謝の気持ちを持って、取り組みました。



●【経営科】ふれあい農園実施!

10月6日(木)、くるみ幼稚園児との交流会が本校で開催されました。イモ掘りの予定が、台風により延期となり、この日もあいにくの雨。体育館での交流とジャガイモの試食だけという少し寂しいものとなりました。



●【経営科】JA道東あさひ共進会に出陣!!

10月17日(月)、別海町酪農研修牧場や乳牛改良同志会、JA道東あさひの協力を得て、研修牧場の育成牛4頭を、オータムホルスタインショーに出陣させてもらいました。

酪農経営科2・3年生の酪農経営コース11人の生徒が、直前の3日間、研修牧場に通り、洗体や毛刈り、調教を実施。前日も泊まり込みで除糞を行い、臨みました。

初めてリードマンを体験する生徒も多く、準備も含めて貴重な1週間になりました。



議案

1. 平成23年度下半期余裕金運用計画額及び運用方針について
2. JA全国監査機構監査に伴う改善事項の回答について
3. 「農協ローン活用事業要領」の廃止について
4. 農協資金の廃止について
5. 平成24営農年度営農基本方針(案)について
6. 平成23営農年度財産造成に伴う資金の貸付について
7. 良質乳増産関連対策の実施について
8. 育成牛維持確保対策事業(案)について

報告事項

1. 平成23年度9月末定期監査報告について
2. 組合員の加入について
3. 「美原いきいきホーム」(仮称)建設に係わる助成について
4. 平成24年度新規採用職員の内定について
5. 固定資産の実査について
6. 平成23年度9月末財務状況について
7. 平成23年度9月末基準決算見通しについて
8. 一日皆貯金の実績について
9. 根室管内JA合同年末貯金キャンペーンの実施について
10. 平成23年度9月末購買事業実績について
11. 平成23年度9月末購買品棚卸結果について
12. 平成23年度9月末営農生産関連実績について
13. 第28回「菊と緑の会inべつかい」実施結果について
14. 共和育成牧場預託牛の事故に対する互助会規程による見舞金の支払について

10月号の訂正とお詫び

10月号13ページパークゴルフ「女子の部」優勝者の名前に間違いがありましたのでお詫びして訂正いたします。

優勝

訂正前 山田ツル子

訂正後 山口ツル子

協議事項

1. TPP参加問題を考える道民集会の参加について
2. 第8期生乳安定生産対策に係る組織討議について

9月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

			単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差
乳脂肪分			792.660		30.34	29.02	1.32
無脂乳固形分			501.839		43.54	41.77	1.77
補給金			3.2878		3.29	3.24	0.05
計画チーズ奨励金							
乳質単価	生菌数	ランク1	2	298,055,854.3kg	3.60	3.57	0.03
		ランク2	0	6,436,490.1kg			
		ランク3	-3	174,102.1kg			
	体細胞数	ランク1	2	239,076,653.0kg			
		ランク2	1	34,634,807.7kg			
		ランク3	-2	5,600,729.5kg			
合計					80.77	77.60	3.17

9月分乳代支払単価

項目	単価(円)/(kg) %
乳脂肪分①	30円34銭
無脂乳固形分②	43円54銭
補給金③	3円29銭
チーズ奨励金④	
脂肪率	全道 3.83%
	農協 3.87%
無脂固形分率	全道 8.68%
	農協 8.64%
成分乳価①+②+③+④=⑤	全道 77円17銭
	農協 77円35銭
乳質乳価⑥	全道 3円60銭
	農協 3円69銭
乳代合計	全道 80円77銭
	農協 81円04銭
⑤+⑥	差異 27銭



楽しい家族と一緒に

芳賀さん家のコロちゃん ♀(雑種)

豊原地区・芳賀 均さん家

★飼い始めたきっかけ

9月の下旬に家に迷い込んできたのがきっかけで飼いはじめました。

★名前の由来

最初は「犬ころ」と呼んでた。体も丸みがあってずっと動きっぱなしなので転がってるイメージがあったので「コロ」になりました。

★好きなこと(もの)はなんですか？

人にかまってもらうこと!!!!人が来ると喜んでしっぽをふります。車に乗るのも大好きでトラクターにもものります。

★得意技

最近「おすわり」を覚えました!!

編集後記

▼緑鮮やかだった木々の葉もすっかり赤に染まり、冬支度に備え皆さんも忙しい毎日を送っていると思います。今年の初雪ももう少し。夏の猛暑から冷え込むのが早かっただけに今年の冬は暖冬か厳冬になるか気になります。

▼さて、今月号では年金友の会秋季旅行や女性部宿泊旅行を取り上げ掲載いたしました。10月は少し早かったですが紅葉があちこちに見ることができ、秋の訪れが感じられる旅行となったように参加された方は満足顔で帰ってきました。皆さまの思い出に残る旅行となったでしょうか？

▼今年も残すところ2カ月程となりました。これからの長い冬に備えて健康には十分注意して過ごしましょう。